

会 議 録

会議の名称	令和3年度第6回 岩舟地域会議
開催日時	令和4年3月23日19時00分 開会 20時46分 閉会
開催場所	岩舟公民館 講義室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長 担当課	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 高久会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 旧小野寺北小学校における専修学校の開校延期について（情報提供）</p> <p>担当課に意見を求める。 資料に基づいて説明する。 &lt;質問・意見&gt;</p>
会長 委員A 担当課	<p>担当課の説明を受けて、委員に質問、意見を求める。</p> <p>開校に向けて努力したと思われるが、その動きの中で手応えはどうだったのか。 学生の応募について、コロナの緊急事態等の中で、学校訪問はできず、資料提供のみとなっていしまった学校もある中で、学園側の話によると、定員の約半数の応募があったとのことである。</p>
委員B 担当課	<p>地元に対し、説明会をやっていただきたい。</p> <p>地元説明会については事務局も重々承知しており、必ずご説明させていただく。</p> <p style="text-align: center;">— 担当課退席 —</p> <p>(2) 令和5年度実施分地域予算提案事業について</p>

会長	事務局に説明を求める。
事務局	資料に基づいて説明する。
会長	<質問・意見>
会長	事務局の説明を受けて、「歴史文化」のキーワードについて各委員に自由な意見を求める。
委員C	来年、赤羽根遺跡の案内板を建てるが、建てただけで歴史文化を理解してもらえるのか。円仁に関しても大きな看板ができており、旧岩舟町時代に中国と交流事業も行ってきたが、成果がどれだけあるか疑問である。
委員D	私も歴史文化では全般的な課題ということで、観光も含めながら小中学生の授業で使うようなパンフレットなどを作成してはどうかと考えている。
会長	今、小学生用にどんな教材が出ていて、栃木市全体の教材であればそのうち岩舟がどのくらい占めているのか、事務局で調べて欲しい。以前、E委員から統一した遺跡看板といった事業についてご意見があったが。
委員E	以前そういう話をしたが、今、話を聞く中で、子ども向け大人向け両面のパンフレットを作るのが良いと思う。
委員B	遺跡を見に行った時、場所がわからなかった。看板だけでなく、道案内や駐車場も考えていただきたい。
委員F	歴史パンフレットや看板などにQRコードを付ければ、地図が出て、冊子を読むよりはよい。また、ウォークラリーにもつながる。円仁を強調するなら、改めて副読本を作るのもある。
会長	次に「岩舟公民館周辺」のキーワードについて、各委員に自由な意見を求める。
委員D	東屋が使えないとあるが、どこが悪いのか。
会長	東屋は耐震になっていない。事務局から予算内では収まらないという話があったが、東屋でなくとも日陰で休める場所が必要と思うが、いかがか。
委員G	東屋を建てるのは別として、危険なものをあのままにしておいていいのだろうかと思う。
委員E	駐車場の区画線が提案されているが、道路交通法の最低基準でなく、幅を広げた方が高齢者も止めやすい。ラインを一本線で引くというのは古く、ダブルで引けばより止めやすくなる。公民館の駐車場より文化会館の駐車場の方が置く気がしない。高齢者がどんどん増えていく中で、ノーマライゼーションという立場から駐車場もゆるやかなスペースがよい。
委員D	広い幅の駐車場も必要かもしれないが、学童野球などがあると入りきらない状況になる。昔の線と新しい線が混在しているから、止める場所がわからない。
会長	公民館の駐車場と岩舟文化会館の駐車場の整備は別物か。
事務局	担当課が分かれているので、それぞれの話を聞いての判断になるかと思う。

会長	岩舟公民館周辺は安心した場所になっていない。公民館を出たところが土手になっていたり、身障者の方にとっても不便であり、スロープがあるとよいという意見も聞く。
E委員	駐車スペースだけの問題だけでなく、全体的な交通安全、ノーマライゼーション的な考えで計画していった方がよい。
会長	次に、「観光」のキーワードについて各委員に自由な意見を求める。
委員C	歴史文化のところでも言ったが、円仁に関して看板設置や交流事業だと効果が疑問。資料館作りなど長期的な観光事業として取り組むことが課題。
委員D	観光に関しては、歴史文化を含めた形で観光PRというはどうか。
委員I	若い人に関心をもってもらうために、スマホですぐ情報を見られる状態にするのがよい。映画やドラマで岩舟駅が使われたということだが、その情報もQRコードで見られるといい。コスモマップというのがあるようだが、季節感を持ちながら歩いてウォーキングできるようなガイドマップ、1枚でスマホからの情報も得られ、歴史や映画のロケ地など全部を見られるようなものがあるとよいのではないか。JRとうまく協力できれば、岩舟駅を撮影に使った時の写真を飾るなどして、岩舟地域をよくわかってもらえるのではと思う。
会長	以前の地域予算提案事業の検討の際に、映画の話の中で岩舟駅の件が出たが、その時はどうだったか。
事務局	観光振興課でも岩舟駅がアニメや映画で使われたということで、それを活かした事業を考えていたようだが、岩舟駅が無人駅なのでパンフレット等を置くのは難しいという話であった。また、新海誠監督の映画の版元との交渉がうまくできなかったという話も聞いている。しかし、そこから年数が経っているので、状況が変わっている場合もある。
委員D	パンフレットを置くことに関しては、できないことはないと思う。PRだが、クリフステージ開催の時に岩舟駅でできるのではないかと。県外からも人が来ている。
委員F	今は岩舟駅よりは岩船山の方が年間ロケ数がかかなりあり、テレビに出ている。岩船山にたけたイベントを集中してやるのもいいのではないかと。県の青少年教育施設もできると観光客の流れが変わってくると思うので、整備を待ってから観光ルートなどを作ったらどうかと思う。
委員G	若い人達が扮装して歩いているのを見た。空き家を利用して着替えて、写真を撮るようなのだが、県の青少年教育施設もできるので、そのようなイベントなどができたらよい。
委員A	令和3年度から産業振興課がなくなり、観光協会に情報が入らない。情報をまとめてくれることを希望する。
会長	岩船山をメインとした観光のイベント、爆破体験の資料を事務局で用意し、県の青

	<p>少年教育施設ができてから審議したほうがよいかなど、次回協議したい。円仁は歴史文化で取り上げ、観光は観光のみということをお願いしたい。</p>
会長	次に「防災」「安全」「環境保全」「福祉」「地域コミュニティ」のキーワードのついて委員に自由な意見を求める。
委員A	避難所でトイレなども限りがあるので、簡易トイレなど防災用品をなるべく各地域に置いておいたほうがよい。
委員F	避難訓練を実施するという提案をしたい。地区の拠点整備し、毎回防災訓練をする、地域の人をどう動かすか等の体制を作ることが重要である。
会長	市の自主防災組織は自治会単位か。
事務局	特に自治会単位と決まっていはいないが、自治会単位の方が作りやすい。また、小さい自治会は2つや3つの自治会が集まり自主防災組織を設立することも可能である。
会長	定期的に避難訓練を実施していないが、市はどんな考えか。
事務局	地区防災訓練が岩舟地区の順番で実施する予定であったが、コロナで2年間実施できていない。コロナが収束すると来年度実施となるが、県の防災訓練が予定されており、栃木市の中央部で防災訓練をやることになっている。その後の予定については、危機管理課でも未定である。
委員D	現実的な問題として最終的には自治会ごとにやるしかない。自主防災組織は自治会単位である程度やってもらわなければならない。
委員H	実働組織の事務局長をやっているが、食糧と簡易トイレと水を買って、地域で何かあればすぐ使えるよう備えている。地域性もあるので防災に関しては、できれば実働組織を中心に地域にあった形で、あるいは地区単位とか自治会単位で状況にあった形で実施していくほうがいい。
委員C	地域コミュニティについて提案したが、指導者を養成して継続していかなければならない。例えば役員がいくら変わっても体制は整っているとといった組織づくりが重要。
委員J	交通事故防止事業を提案したが、今、3年に1回中学校で行っているが、体調等で参加できない場合、1度も受けられないということがあるので毎年行ってほしい。
委員G	小中学生の障がいのある方への理解する場が少ないと感じている。盲導犬などの理解を深めて、視野を広くしてほしい。
会長	事務局で盲導犬講座というのはどういうものなのか調べておいてほしい。
	(3) その他
会長	他に意見等があるか委員に問う。
委員K	地域予算提案事業について2年前も同じようなキーワードが出てきて話し合いをしている。短い期間でなく5年、10年といった長期で考えていくべきでは。3世代

<p>事務局</p>	<p>の交流を密にすることで地域会議で出たキーワードが全部入ってくる。実働組織や地域住民を巻き込んで動いた方が良い。そのサポートを地域会議で方向づけして、必要なものに予算を出すのが1番早い。</p> <p>岩舟町で必要なものが各部署であると思う。そういうものをピックアップして地域会議で検討するという方向も一つある。地域会議で毎年同じようなことを提案して予算をどこに持っていこうではなく、もっと有効利用する必要がある。観光についても観光協会、実働組織などと連携しながら予算をうまく利用するのも一つのやり方かと思う。</p> <p>おっしゃる通りだと思う。皆さんが属されている団体との話し合いができていなかった。岩舟地域で1番問題な自治会の多さについても地域会議で考えていっていただけだったと思う。</p>
<p>会長 事務局 会長 事務局</p>	<p>今年中学校で交通安全の教室をやるが、その後情報はるか。</p> <p>6月に実施予定。確定し次第お伝えする。</p> <p>地域会議委員の見学、ビデオ撮影ができるか確認しておいてほしい。</p> <p>検討する。</p>
<p>事務局</p>	<p>4. 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回栃木市地域会議連絡調整会議、令和4年度栃木市地域自治交流会は5月21日(土)に行われる。(会長出席)</li> <li>・ 4月の地域会議は27日(水)午後7時から</li> <li>・ 市民会議委員と子ども・子育て会議委員の継続確認</li> <li>・ 小林委員の退任のあいさつ</li> <li>・ 岩崎課長の退職のあいさつ</li> <li>・ 中田副主幹異動のあいさつ</li> </ul> <p>以上で本日の会議は終了とする。</p> <p style="text-align: center;">— 閉会 —</p> <p>(会議終了時刻 午後8時46分)</p>

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会長	高久 厚子	副会長	斉藤 栄吉
委員	川田 とみ子	委員	川原井正敏
委員	熊倉 正志	委員	小暮 實
委員	越沼 和子	委員	小林 仁美
委員	瀬下 敏明	委員	田中 正太郎
委員	寺澤 保之	委員	永島 仁一
委員	広瀬 昌子	委員	深津 智子

欠席者（委員）

委員	相良 栄	委員	永田 昌弘
----	------	----	-------

事務局

岩崎	充	（岩舟地域づくり推進課課長）
中田	与志人	（岩舟地域づくり推進課副主幹）
打木	洋子	（岩舟地域づくり推進課主査）
堀江	裕美	（岩舟地域づくり推進課主査）

## 別紙2 会議事項

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

### 3. 議 事

(1) 旧小野寺北小学校における専修学校の開校延期について（情報提供）

(2) 令和5年度実施分地域予算提案事業について

(3) その他

### 4. 連絡事項

令和4年度第1回岩舟地域会議の開催について

令和4年3月27日（水）午後7時～ 岩舟公民館講義室

### 5. 閉 会

## 資料配布一覧

資料1 令和5年度実施分地域予算提案事業 委員提案一覧表（中間報告）

岩舟地域会議だより

旧小野寺北小学校における専修学校の開校について